



証券コード：9861

For the People

**YOSHINOYA  
HOLDINGS**

# 2026年2月期第1四半期 決算補足資料

株式会社吉野家ホールディングス 2025年7月8日

## 1. 2026年2月期第1四半期 実績

業績概要／既存店売上高前年比

P3～4

セグメント売上高実績・営業利益実績／営業利益の増減要因

P5～7

出退店実績・設備投資実績

P8～9

財政状態（貸借対照表・キャッシュフロー計算書）

P10

## 2. サステナビリティ取組み事例

こどもごちめし

P12

京都産メンマプロジェクト2025

P13

## 3. Appendix

P15～17

## コスト上昇はあるものの、増収により計画通りに進捗

- ◆売上高（前年差+4,675百万円） …既存店の伸長および前期にM&Aでグループ入りした宝産業、キラメキノ未来による純増等
- ◆原価率（前年差+2.2%） …前年超過の大半は米の価格高騰の影響、メーカーである宝産業の原価構造による上昇等
- ◆販管費率（前年差▲2.4%） …前年同期に発生した吉野家のユニフォーム切替およびM&A費用の減少影響等
- ◆営業外損益（前年差▲173百万円） …関連会社の業績の影響（▲97百万円）、円高による為替差益の減少（▲77百万円）等
- ◆特別損益（前年差+173百万円） …行政都合による店舗退去の補償金（59百万円）、店舗の収益力向上に伴う減損損失の減少（77百万円）等

（単位：百万円）

	2025年2月期 第1四半期		2026年2月期 第1四半期		増減		2026年2月期	
	実績	売上比	実績	売上比	前年差	前年比	計画	進捗率
売上高	47,542	-	52,218	-	+4,675	109.8%	225,000	23.2%
売上原価	16,696	35.1%	19,485	37.3%	+2,789	116.7%	86,000	22.7%
売上総利益	30,846	64.9%	32,732	62.7%	+1,885	106.1%	139,000	23.5%
販売費及び一般管理費	29,966	63.0%	31,675	60.7%	+1,709	105.7%	131,600	24.1%
営業利益	880	1.9%	1,056	2.0%	+176	120.0%	7,400	14.3%
経常利益	1,238	2.6%	1,241	2.4%	+3	100.3%	8,000	15.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	681	1.4%	742	1.4%	+61	109.0%	4,200	17.7%
EBITDA*	2,481	5.2%	2,885	5.5%	+403	116.3%	14,400	20.0%

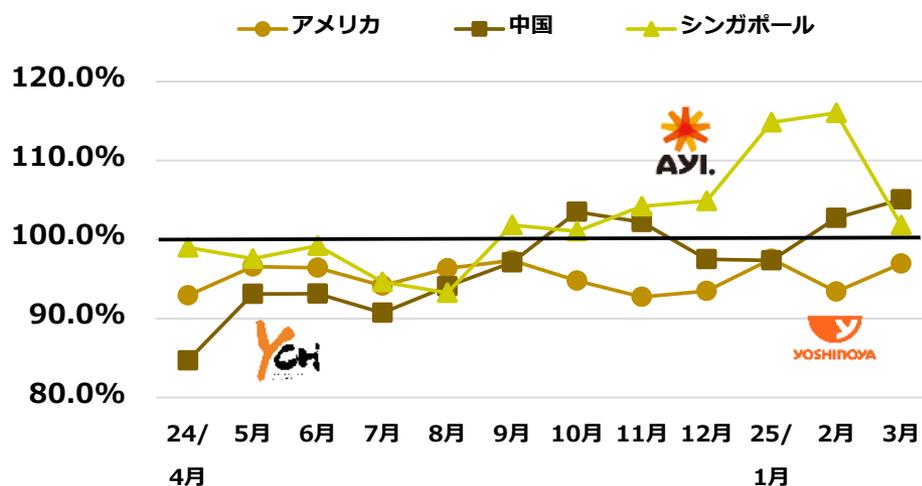
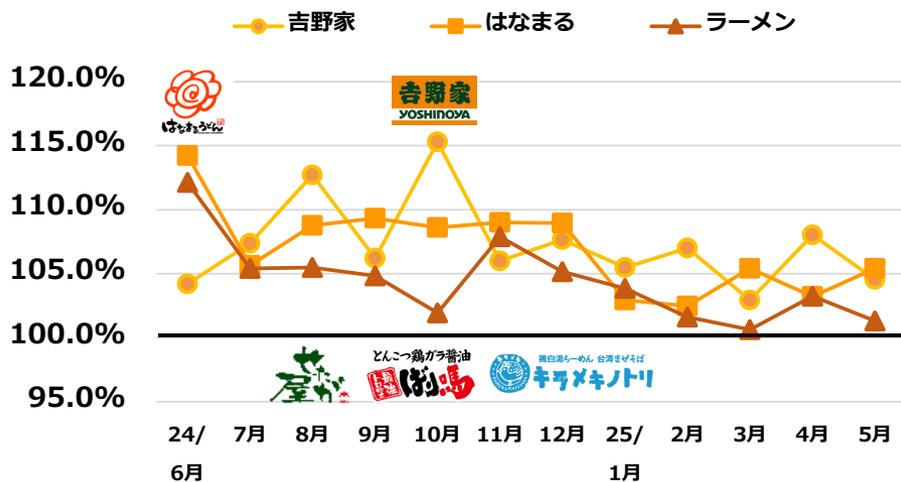
※EBITDA：営業利益+減価償却費およびのれん償却費

# 既存店売上高前年比

	3月	4月	5月	第1四半期
全社	102.7%	105.5%	103.8%	104.0%
吉野家	102.9%	108.0%	104.5%	105.1%
はなまる	105.4%	103.2%	105.4%	104.7%
ラーメン	100.6%	103.3%	101.3%	101.7%

	1月	2月	3月	第1四半期
海外合計	99.3%	95.8%	99.2%	98.1%
アメリカ	97.5%	93.4%	96.9%	96.0%
中国	97.4%	102.7%	105.1%	101.6%
シンガポール	114.8%	116.0%	101.8%	110.5%

※海外は決算期が1月～12月であり、現地通貨ベースで表出しております



# セグメント別売上高実績

連結売上高前年比 109.8%

◆全セグメントで増収

前年比…吉野家 108.0%、はなまる 104.6%、海外 100.1%

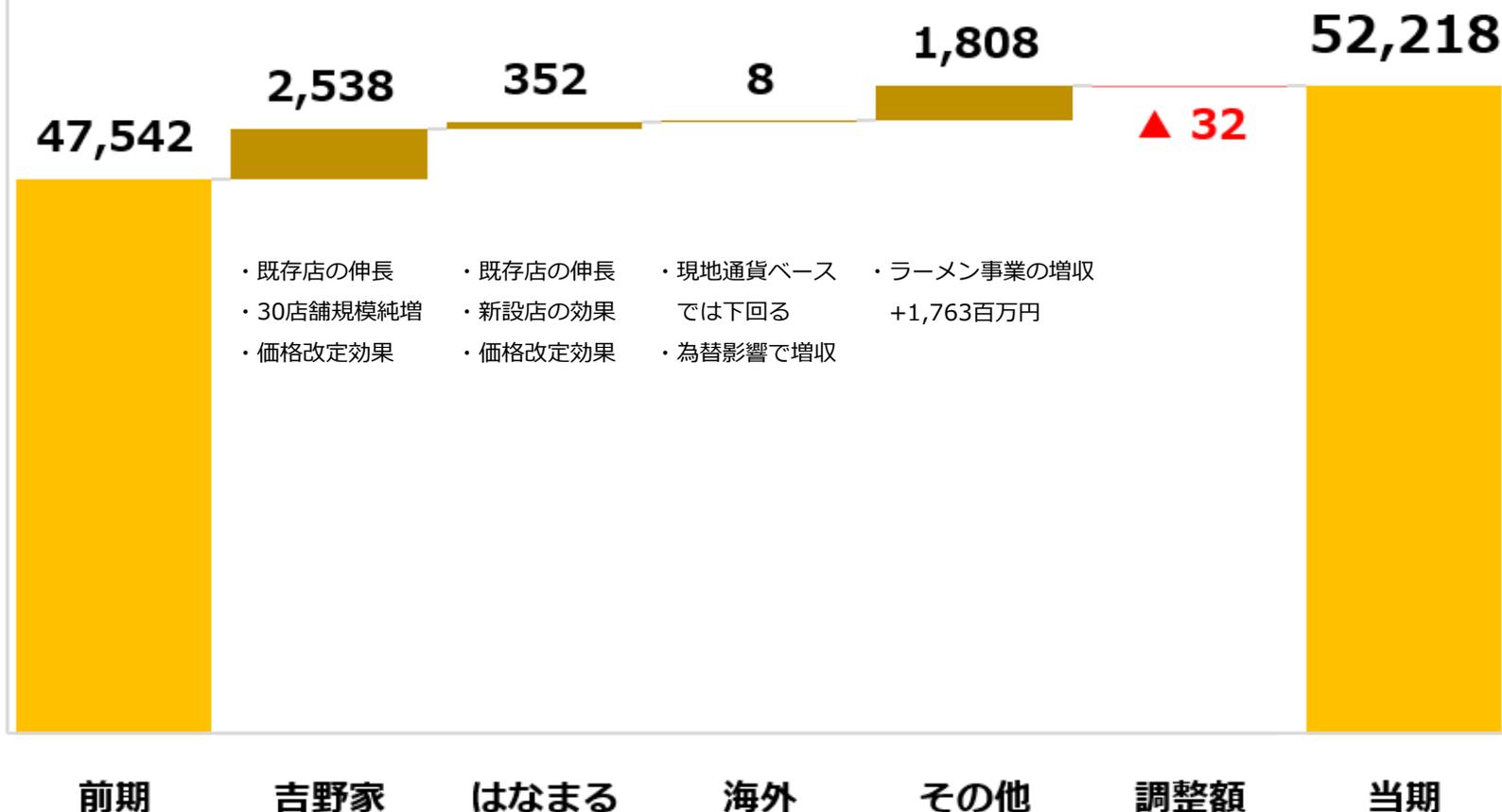
※ラーメン252.7%

(単位：百万円)

60,000

40,000

20,000

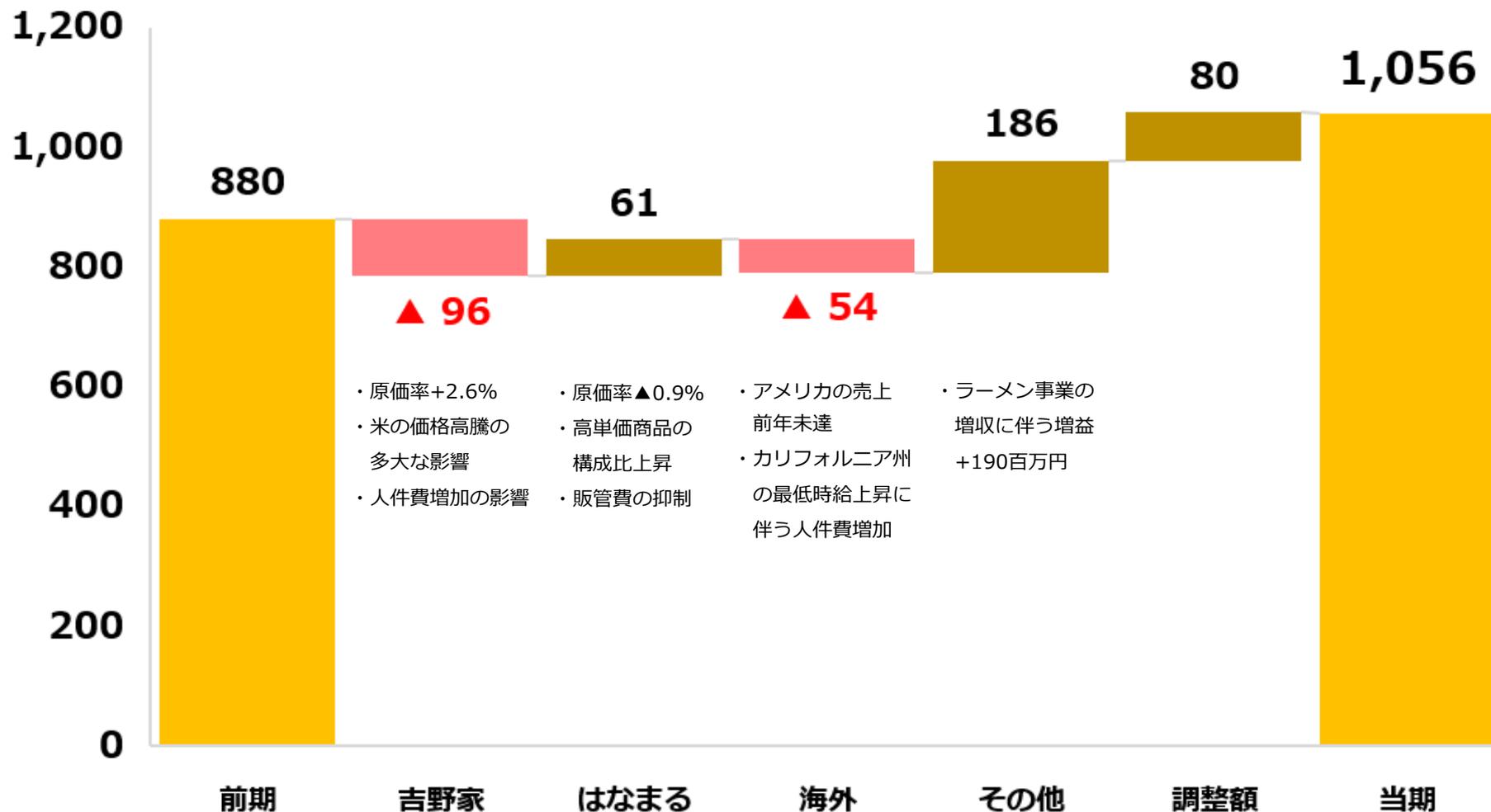


# セグメント別営業利益実績

連結営業利益前年差+176百万円

◆吉野家、海外の減益をラーメン事業がカバーし増益

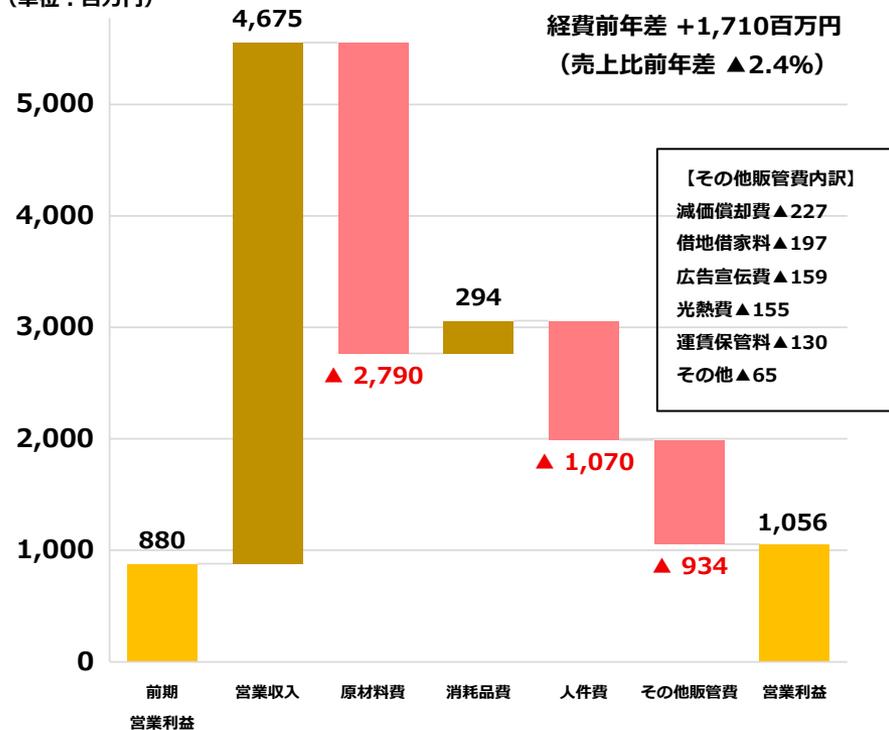
(単位：百万円)



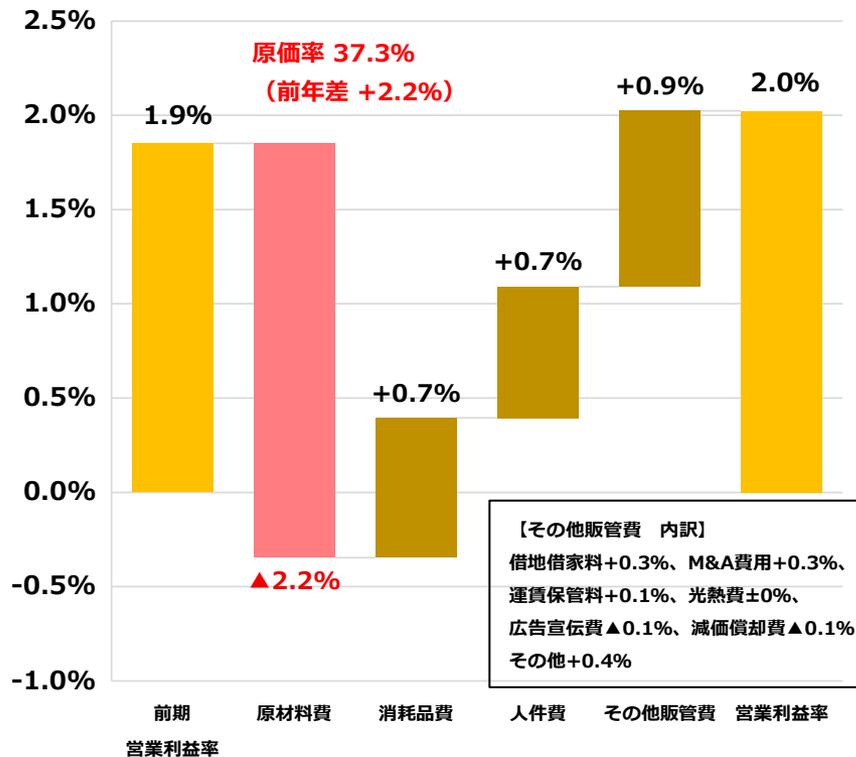
第1四半期営業利益 1,056百万円（前年差+176百万円）、第1四半期営業利益率 2.0%（前年差+0.1%）

## 【営業利益の増減：金額】

（単位：百万円）



## 【営業利益率の増減：売上比】



### 改善要因

- ・前期にグループ入りした宝産業、キラメキノ未来による純増
- ・前年第1四半期の吉野家のユニフォーム切替、M&A費用の影響

### 低減要因

- ・原材料価格高騰（主に米）
- ・人件費増加（賃上げ、店舗の時給改定）の影響
- ・広告宣伝費、光熱費、店舗配送費用増加の影響

# 出退店実績

【吉野家】 新サービスモデル店の転換4店舗は既存モデルからの改装

【はなまる】 退店6店舗内訳…閉館5、店舗移転1（不採算での退店は0）

【海外】 中国大陸…出店：1～2月の不況下で出店時期を見極めたことによる計画未達  
退店：契約満了および店舗移転による閉店（第2四半期以降に出店）

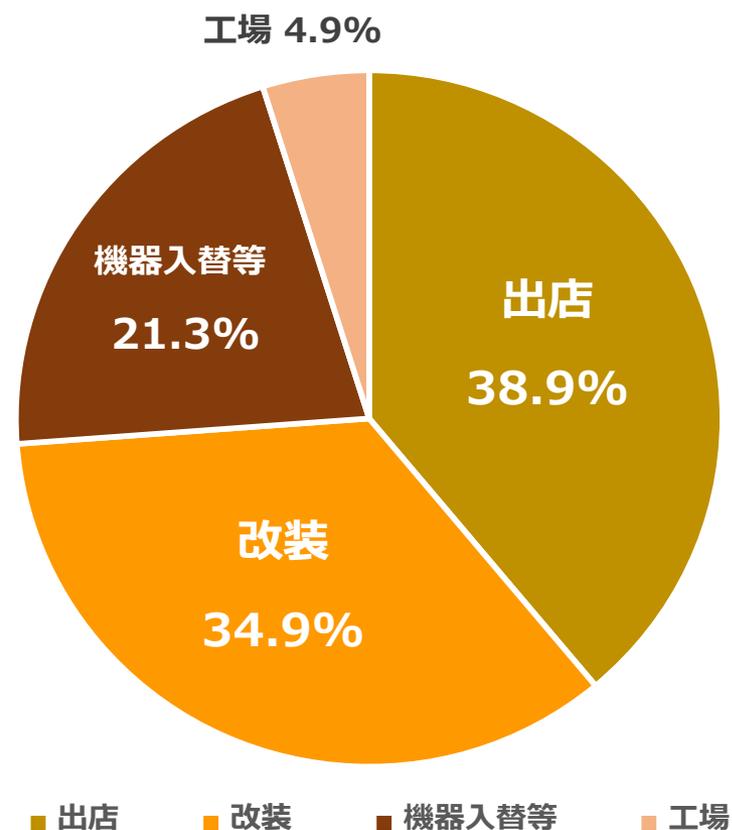
	前期末	出店	退店	転換	第1四半期末	増減	出店計画	進捗率
<b>吉野家</b>	<b>1,259</b>	<b>11</b>	<b>9</b>	-	<b>1,261</b>	<b>+2</b>	<b>57</b>	<b>19.3%</b>
既存モデル	668	1	5	-4	660	-8	2	50.0%
新サービスモデル	540	5	-	4	549	9	16	31.3%
テイクアウト・デリバリー専門店	44	-	4	-	40	-4	30	0.0%
新業態	7	5	-	-	12	5	9	55.6%
<b>はなまる</b>	<b>415</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	-	<b>415</b>	<b>±0</b>	<b>28</b>	<b>21.4%</b>
<b>海外</b>	<b>998</b>	<b>15</b>	<b>24</b>	-	<b>989</b>	<b>▲9</b>	<b>72</b>	<b>20.8%</b>
アメリカ	101	-	-	-	101	0	2	0.0%
中国大陸、香港	632	7	17	-	622	-10	40	17.5%
東南アジア	220	7	5	-	222	2	28	25.0%
その他	45	1	2	-	44	-1	2	50.0%
<b>その他</b>	<b>149</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	-	<b>150</b>	<b>+1</b>	<b>18</b>	<b>16.7%</b>
ラーメン	124	2	2	-	124	0	17	11.8%
その他	25	1	-	-	26	1	1	100.0%
<b>グループ計</b>	<b>2,821</b>	<b>35</b>	<b>41</b>	-	<b>2,815</b>	<b>▲6</b>	<b>175</b>	<b>20.0%</b>

## 設備投資実績内訳

(単位：百万円)

	前期	当期	増減	計画	進捗率
	第1四半期	第1四半期			
<b>吉野家</b>	<b>1,410</b>	<b>1,506</b>	<b>96</b>	<b>6,192</b>	<b>24.3%</b>
出店	506	469	-37	2,184	21.5%
改装	734	646	-88	2,582	25.0%
機器入替等	171	391	221	1,426	27.4%
<b>はなまる</b>	<b>214</b>	<b>387</b>	<b>173</b>	<b>2,420</b>	<b>16.0%</b>
出店	91	239	147	1,514	15.8%
改装	120	95	-25	597	15.9%
機器入替等	3	54	51	309	17.4%
<b>海外</b>	<b>434</b>	<b>424</b>	<b>-10</b>	<b>2,119</b>	<b>20.0%</b>
出店	120	288	169	955	30.2%
改装	315	130	-184	900	14.5%
機器入替等	0	5	5	264	2.0%
<b>その他セグメント</b>	<b>71</b>	<b>40</b>	<b>-31</b>	<b>273</b>	<b>14.6%</b>
出店	26	4	-22	247	1.7%
改装	40	26	-15	21	121.7%
機器入替等	5	10	5	50	20.2%
<b>工場</b>	<b>454</b>	<b>125</b>	<b>-328</b>	<b>1,100</b>	<b>11.4%</b>
<b>本部等</b>	<b>40</b>	<b>86</b>	<b>46</b>	<b>896</b>	<b>9.6%</b>
<b>グループ計</b>	<b>2,624</b>	<b>2,569</b>	<b>-55</b>	<b>13,000</b>	<b>19.8%</b>
出店	742	1,000	257	4,900	20.4%
改装	1,209	897	-312	4,100	21.9%

## 設備投資種別構成比



◆純資産▲150百万円の内訳…当期純利益+742百万円、配当▲634百万円、  
円高の影響による為替調整勘定▲616百万円等

◆投資キャッシュフロー+1,435百万円の要因…前年の子会社株式取得支出▲1,664百万円※1の影響

※1…子会社株式取得額から子会社が保有していた現預金を差し引いた金額

## 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	前期末	第1四半期末	増減
<b>流動資産</b>	<b>38,301</b>	<b>38,845</b>	<b>+544</b>
現金および預金	20,571	18,561	▲ 2,009
その他	17,729	20,284	+2,554
<b>固定資産</b>	<b>80,811</b>	<b>80,850</b>	<b>+38</b>
有形固定資産	55,723	56,281	+558
無形固定資産	3,708	3,678	▲ 30
投資その他	21,379	20,890	▲ 489
<b>資産合計</b>	<b>119,113</b>	<b>119,696</b>	<b>+583</b>
<b>流動負債</b>	<b>34,843</b>	<b>32,529</b>	<b>▲ 2,314</b>
短期借入金	4,050	9,050	+5,000
1年内長期借入金	6,491	286	▲ 6,204
その他	24,301	23,192	▲ 1,109
<b>固定負債</b>	<b>19,455</b>	<b>22,503</b>	<b>+3,048</b>
長期借入金	7,014	9,937	+2,922
その他	12,440	12,566	+125
<b>負債合計</b>	<b>54,299</b>	<b>55,032</b>	<b>+733</b>
<b>純資産</b>	<b>64,813</b>	<b>64,663</b>	<b>▲ 150</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>119,113</b>	<b>119,696</b>	<b>+583</b>

## 【キャッシュフロー計算書】

(単位：百万円)

	前期第1四半期	第1四半期	増減
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>751</b>	<b>444</b>	<b>▲ 307</b>
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>▲ 4,385</b>	<b>▲ 2,949</b>	<b>+1,435</b>
フリーキャッシュフロー	▲ 3,633	▲ 2,505	+1,128
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>▲ 1,487</b>	<b>613</b>	<b>+2,101</b>
借入金	▲ 420	1,722	+2,141
リース債務	▲ 437	▲ 473	▲ 36
配当	▲ 630	▲ 634	▲ 3
その他	0	▲ 2	▲ 2
現金及び同等物の増減	▲ 4,902	▲ 1,778	+3,124
現金及び同等物の期首残高	26,275	19,524	▲ 6,750
現金及び同等物の期末残高	21,372	17,745	▲ 3,626

## 【財務関連指標】

	前期末	第1四半期末	増減
<b>自己資本比率</b>	<b>53.9%</b>	<b>53.5%</b>	<b>▲ 0.4%</b>
<b>D/Eレシオ</b> ※1	<b>0.27</b>	<b>0.30</b>	<b>+0.03</b>
<b>ネットD/Eレシオ</b> ※2	<b>▲ 0.05</b>	<b>0.01</b>	<b>+0.06</b>

※1 D/Eレシオ：借入金÷自己資本 ※2 ネットD/Eレシオ：(借入金-現預金)÷自己資本

## 1. 2026年2月期第1四半期 実績

業績概要／既存店売上高前年比

P3～4

セグメント売上高実績・営業利益実績／営業利益の増減要因

P5～7

出退店実績・設備投資実績

P8～9

財政状態（貸借対照表・キャッシュフロー計算書）

P10

## 2. サステナビリティ取組み事例

こどもごちめし

P12

京都産メンマプロジェクト2025

P13

## 3. Appendix

P15～17

## 全国の吉野家店舗で「こどもごちめし」を導入

- 年間10万食分の食事チケットを無償提供し、子どもの食支援を拡大 -



### ◆ 企画概要

対象者：こどもごちめし登録ユーザー

利用店舗：全国の吉野家店舗 1,162 店舗

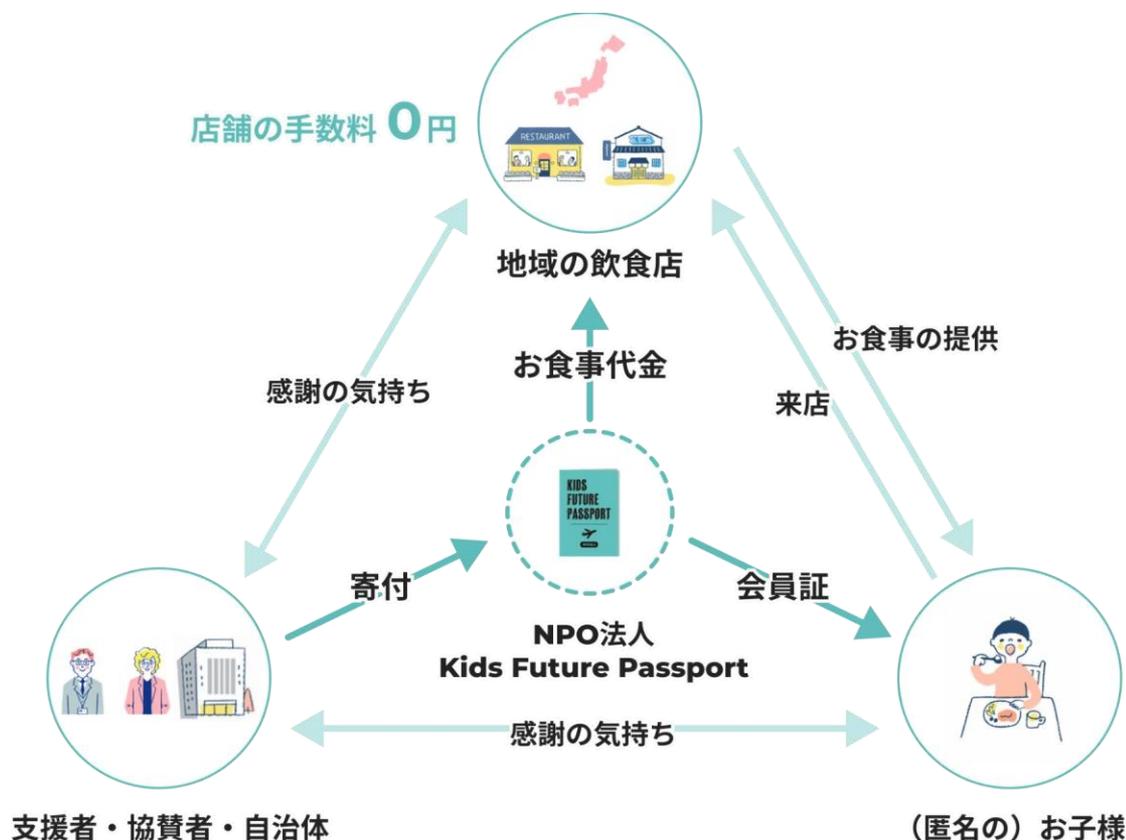
(2025年3月17日現在)

※一部店舗を除く

支援内容：税込750円分の「こどもごちめし」クーポン

※毎月提供予定数を設定、なくなり次第終了

実施期間：2025年3月17日(月)～2026年2月28日(土)



## 【キラメキノ未来、ラーメンを通じて社会に貢献】

社会問題となっている放置竹林を活用して国産メンマを製造・提供する

『京都産メンマプロジェクト2025』を実施

- 今期は京都府立八幡支援学校もプロジェクトに参加 -



放置竹林 × ラーメン

「ラーメンを通じて社会貢献」  
キラメキノトリが社会問題となっている放置竹林を  
解決するために京都産メンマづくりにチャレンジする

京都産メンマ  
プロジェクト  
2025

キラメキノ未来株式会社

## 1. 2026年2月期第1四半期 実績

業績概要／既存店売上高前年比

P3～4

セグメント売上高実績・営業利益実績／営業利益の増減要因

P5～7

出退店実績・設備投資実績

P8～9

財政状態（貸借対照表・キャッシュフロー計算書）

P10

## 2. サステナビリティ取組み事例

こどもごちめし

P12

京都産メンマプロジェクト2025

P13

## 3. Appendix

P15～17

## 吉野家

味へのこだわりを守りつつ進化を続ける国内の吉野家事業



## はなまる

本場香川県発祥の本物の讃岐うどんを提供するはなまる事業



## 海外

新たな顧客を開拓している海外の吉野家事業



## その他

第3の事業ドメインとして成長の基軸となるラーメン事業等



## 【売上高】

- ◆第1四半期は4期連続で全セグメントが増収
- ◆その他の内、ラーメン事業前年差+1,763百万円（前年比252.7%）  
※ラーメン事業のその他セグメントに占める割合…79.1%

## 【セグメント利益】

- ◆その他の内、ラーメン事業前年差+190百万円（前年比653.0%）  
※ラーメン事業のその他セグメントに占める割合…94.6%

（単位：百万円）

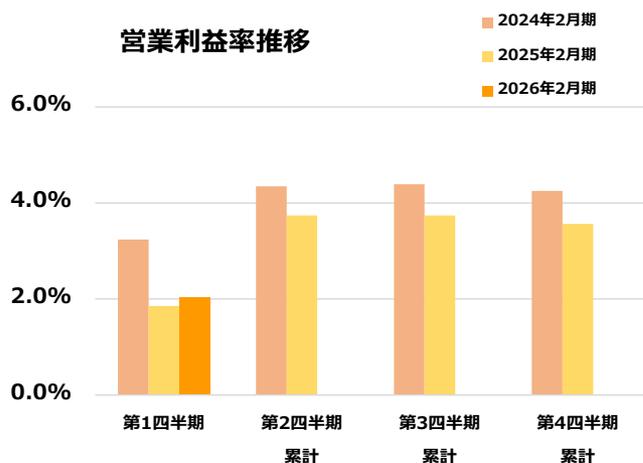
セグメント	売上高				セグメント利益			
	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期	前年差	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期	前年差
	第1四半期	第1四半期	第1四半期		第1四半期	第1四半期	第1四半期	
吉野家	29,666	31,819	34,357	2,538	1,573	1,024	927	▲96
はなまる	7,340	7,648	8,001	352	539	657	718	61
海外	6,219	6,850	6,858	8	417	469	415	▲54
その他	1,670	1,878	3,686	1,808	76	51	238	186
調整額	▲619	▲653	▲686	▲32	▲1,172	▲1,322	▲1,242	80
合計	44,278	47,542	52,218	4,675	1,434	880	1,056	176

# 業績推移（3年間）

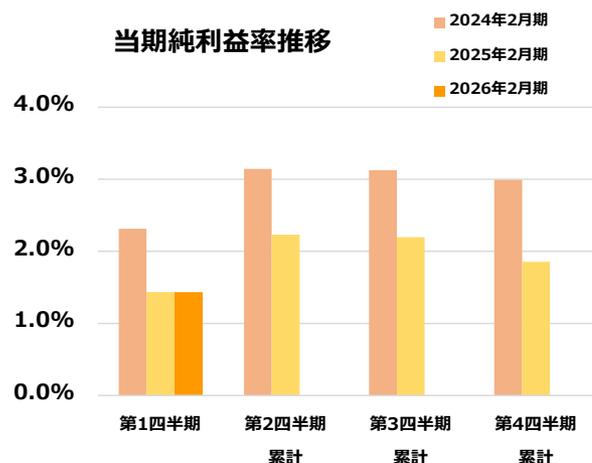
（単位：百万円）

科目	2024年2月期／第1四半期		2025年2月期／第1四半期		2026年2月期／第1四半期	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
売上高	44,278	109.9%	47,542	107.4%	52,218	109.8%
販管費	27,256	105.0%	29,966	109.9%	31,675	105.7%
営業利益	1,434	325.6%	880	61.4%	1,056	120.0%
当期純利益	1,024	70.1%	681	66.5%	742	109.0%
総資産額	110,105	98.2%	113,817	103.4%	119,696	105.2%
純資産額	56,397	112.1%	61,497	109.0%	64,663	105.1%
営業利益率	3.2%	296.2%	1.9%	57.1%	2.0%	109.3%
当期純利益率	2.3%	63.8%	1.4%	62.0%	1.4%	99.2%
ROIC	1.3%	313.3%	0.8%	61.2%	0.9%	117.3%

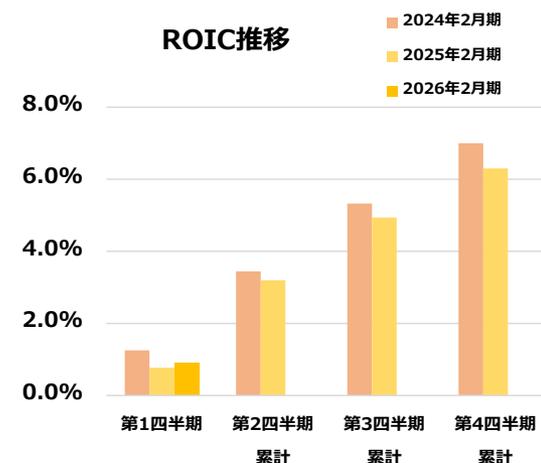
### 営業利益率推移



### 当期純利益率推移



### ROIC推移



本資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画予測数値などは、現在入手可能な情報を元に、当社が計画・予測したものであります。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。

株式会社吉野家ホールディングス